

地域だより

みんなの

校区避難訓練

鎮西校区活性化協議会

◆問い合わせ
文化生涯学習課
公民館・スポーツ係
(☎ 44-5110)



伊田校区自主防災研修会

伊田校区活性化協議会

防災・減災意識の向上を目的に、伊田校区活性化協議会（加生末男会長）が自主防災研修会を実施しました。今回は、市と県が合同で、11月25日に「伊田校区自主防災会避難所運営研修会」、12月10日は「伊田校区避難所運営訓練」と、2回に分けて実施。地域住民など両日合わせて207人が伊田小学校に集まりました。

避難所運営研修会では、日本セイフティー（株式会社）研究所長の伊永勉さんから講義を受け、実際の避難所の開設や運営について学びました。伊永さんは「田川市にも身近に断層があり、大規模な災害では自助と共助で助け合っしかありません。避難所の開設や運営には地域住民のみなさんの力が必要です」と訴えました。

避難所運営訓練では、避難所生活を送るうえで必要な体験コーナーを設置し、東日本大震災や熊本地震で活用されたダンボールベットの組み立て方などを学び、実際の寝心地も確認しました。

また、市保健師によるエコノミークラス症候群の予防方法などの指導もあり、参加者からは「ダンボールベットの寝心地がよくて驚いた」と声が上がっていました。

11月18日、鎮西中学校体育館で、鎮西校区活性化協議会（児島孝司会長）の自主防災会と鎮西中学校との共同開催で「鎮西校区避難訓練」が行われました。これは「災害発生時、地域の一員としてできることはないか」という鎮西中学校の生徒の声を受けた同協議会が開催したもので、中学生や住民など約240人が参加しました。

この日は、生徒たちが実際に災害が起きたという設定で「被災者」として体育館に避難。同じように避難してきた住民を「支援者」としてどのように手助けをしていくかという想定で訓練しました。生徒たちは、市安全安心まちづくり課の指導を受けながら、災害用仮設トイレを組み立てたり、負傷者役の住民を車イスや担架で安全に搬送誘導する方法を学んだりしました。生徒たちからは「実際に災害が起きた時のイメージができてよかった」などの声が聞かれました。



▲地域住民と交流しながら訓練する中学生たち



▲ダンボールベットの寝心地を確かめる参加者たち

発行 福岡県田川市 編集 総務部市長公室
電話 0947-442000 FAX 0947-460124
住所 〒825-8501 田川市中央町1番1号
ホームページアドレス <http://www.john.tagawa.fukuoka.jp/>

いただきます! : Guten Appetit! ～ドイツの給食～



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)のアネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから
QRコード➡



ドイツの学生に「学校で一番好きな時間は何?」と聞くと「お昼休みだよ!」と答える学生が多いでしょう。ドイツの学校では、昼食を教室ではなくカフェテリアで食べます。そして、ドイツの学生の昼食には、2つの選択肢があります。

1つ目は、学生が学校に持ってくる日本の弁当のようなランチボックスです。中身は日本とは違い、主にサンドイッチと果物、または野菜やヨーグルトです。ドイツの親は毎朝ランチボックスにそれらを詰め、子どものバッグに入れます。

2つ目は、カフェテリアでメニューを選ぶ学食です。学食にはメニューがたくさん

あるので、学生たちは好きな料理を選択することができます。ドイツの学食のメニューにもお米がありますが、じゃがいもやパスタの方が人気があるようです。それに加えて、野菜と肉、または魚を食べます。パンをつけて食べるスープもあります。ドイツと日本の給食にはさまざまな違いがありますが、Guten Appetit! (いただきます!) と言って友達と話をしながら昼食をとり、楽しい時間を過ごすという点は、どちらの国でも共通しているようです。

🇩🇪 今日の言葉 🇩🇪
Guten Appetit! (いただきます!)